



2024年3月22日

株式会社 阿波銀行

幼保連携型認定こども園 めだかのこころの「SDGs 宣言書」策定について  
～ お客さまのSDGs 達成への取組みを幅広くサポートします ～

阿波銀行（頭取 福永丈久、本店：徳島県徳島市）は、SDGs の達成に向けて取組む企業を積極的に支援するため、「あわぎん SDGs 対応度診断サービス」を取扱っています。今回、幼保連携型認定こども園 めだかのこころ（園長 三好 美穂、本社：徳島県徳島市）が、当サービスを通じ、「SDGs 宣言書」を策定されましたので、お知らせいたします。

SDGs や ESG への関心が高まるなか、経営課題の発見や新規事業の創出、企業イメージの向上に繋がることから、多くの企業が SDGs 経営に取組み始めています。

当行は、SDGs の達成に向け、企業の方々と一緒に取組む伴走支援を行っています。今後さらに、お客さまの SDGs 達成に向けた支援を通じて地域経済の発展や産業振興に貢献し、魅力ある持続可能な地域社会の実現に向けて取組んでまいります。

#### 【企業概要】

企業名	幼保連携型認定こども園 めだかのこころ
所在地	徳島県徳島市新浜本町2丁目2-23
代表者	三好 美穂
業種	認定こども園
設立	2016年4月1日

#### ○あわぎん SDGs 対応度診断サービス

当サービスは、SDGs の達成に向け取組む企業をサポートするため、①SDGs 対応度診断チェックシート（※）によるお客さまの取組状況の評価（評価レポート作成）、②現状認識（評価レポート）を踏まえ、お客さまとの対話による具体的な取組み内容（SDGs アプローチシート）の策定、③環境・社会・経済の3側面でのアプローチシートを基にした「SDGs 宣言書」の策定、をご提供するものです。

また、「SDGs 宣言書」策定後も、取組み内容の継続的なサポートや再評価等により、SDGs の達成に向けた実効性の高い取組み支援を行ってまいります。

※本サービスで使用するチェックシートは地域の課題等を盛り込み、SOMPO リスクマネジメント株式会社と当行が共同開発したものです。

# SDGs宣言書

2024年3月22日



## 幼保連携型認定こども園 めだかのこころ

園長 三好 美穂

当施設は、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みを行ってまいります。

項目	テーマ	取組み内容	①取組みと②数値目標	SDGsのゴール	
社会・経済	教育への貢献	当施設のリソースを最大限活用し、地域の教育に貢献する活動を行います。	① 絵本の読み聞かせの習慣化		
			② 各園児に1ヶ月30冊以上		
環境	環境問題の認識・理解の推進	環境問題を自分事として取り組むために、環境意識のさらなる向上に努めます。	① 家庭等の不用品の再利用		
			② 不用品を使った工作活動を通じ子どもたちの環境意識、創造力を育成		
社会・経済	ジェンダー平等の実現	男の子と女の子が仲良く過ごせる環境をつくり、誰もが公平に質の高い保育教育を受けられる環境を整えます。	① 子どもたちが自己を自由に表現できる環境の整備		
			② 子どものおもちゃの選択や言動を尊重		
社会・経済	SDGsの取組みの表明	当施設としてSDGsに取り組むことを決め、その社会的な意義や施設にとっての目的を職員に伝え、社会へ貢献します。	① 毎年SDGsの項目を決めコンテストを実施		
			② 毎年各項目の表彰を実施		

### SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



### SDGsとは

持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。